

出生数 減少に転じる

～平成23年 住民基本台帳に基づく人口～

今号の特集では、福岡市における平成23年9月末現在の住民基本台帳に基づく人口及び平成23年の人口動態の状況をご紹介します。

「住民基本台帳に基づく人口」とは

「住民基本台帳に基づく人口」とは、福岡市に住民登録をしている人を集計したもので、外国人登録人口を含みません。

1. 住民基本台帳に基づく人口

(1) 概要

1世帯あたり世帯人員2.08人

世帯規模の縮小化続く

住民基本台帳に基づく平成23年9月末現在の福岡市の人口は1,419,311人で前年（平成22年9月末現在）に比べ14,786人増加し、増加率は1.1%となっています。世帯数は683,885世帯で、前年に比べ12,360世帯増加し、増加率は1.8%となりました。

性別に見ると、男性は674,197人で、前年と比べて6,795人増加し（対前年増加率1.0%）、女性は745,114人となり、前年と比べて7,991人の増加（同1.1%）となっています。女性を100としたときの男性の割合を

示す「性比」は90.5となり、平成20年から横ばい状態が続いています。

1世帯あたり人員は2.08人で、前年比0.01人の減少となりました。人口・世帯数ともに増加傾向にあります。世帯数の伸びが人口の伸びを上回っているため、1世帯あたり人員は減少が続き、世帯規模の縮小化が続いています。（表1、図1）

(2) 行政区別人口

博多区、東区、中央区に人口増が集中

行政区別に見ると、人口、世帯数ともに全ての区で増加しています。人口は東区の

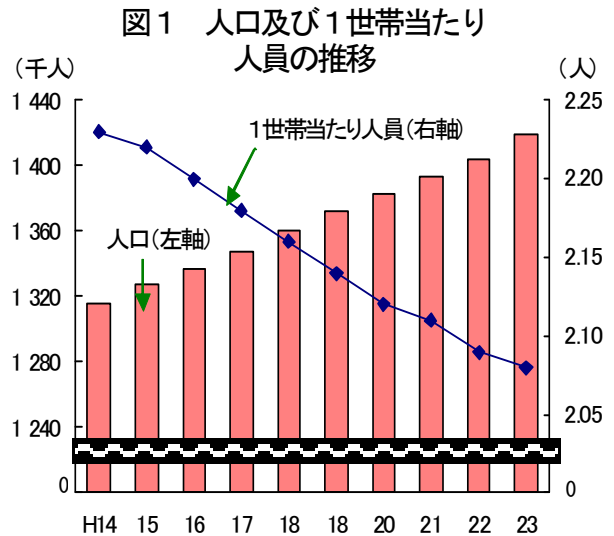


表1 世帯数, 人口等の推移

年	世帯数	人口		性比	1世帯あたり人員	対前年増減				
						世帯数		率		
						世帯	人	率	率	
平成14年	589 349	1 316 222	630 069	686 153	91.8	2.23	10 183	1.8	12 969	1.0
15年	598 954	1 327 099	634 863	692 236	91.7	2.22	9 605	1.6	10 877	0.8
16年	608 510	1 337 576	639 168	698 408	91.5	2.20	9 556	1.6	10 477	0.8
17年	618 034	1 347 823	642 842	704 981	91.2	2.18	9 524	1.6	10 247	0.8
18年	630 866	1 361 060	648 387	712 673	91.0	2.16	12 832	2.1	13 237	1.0
19年	642 514	1 372 840	652 935	719 905	90.7	2.14	11 648	1.8	11 780	0.9
20年	652 282	1 382 563	656 798	725 765	90.5	2.12	9 768	1.5	9 723	0.7
21年	662 040	1 394 017	662 176	731 841	90.5	2.11	9 758	1.5	11 454	0.8
22年	671 525	1 404 525	667 402	737 123	90.5	2.09	9 485	1.4	10 508	0.8
平成23年	683 885	1 419 311	674 197	745 114	90.5	2.08	12 360	1.8	14 786	1.1

各年9月末現在

282,475人が最も多く、次いで南区、早良区の順になっています。世帯数は、東区の129,816世帯が最も多く、以下、南区、博多区と続いており、人口、世帯数ともに最も少ないのは城南区となっています。

人口増加数は、博多区の3,454人が最も多く、次いで東区の3,354人、中央区の3,089人となっています。この3区の合計で市全体の増加数の約67%を占めています。

性比を見ると、博多区が95.2と最も高く、他の区と比べて男性の割合が多くなっています。中央区(79.5)と南区(89.0)は福岡市全体の性比より低く、他の区と比べて女性の割合が多いことが分かります。

1世帯当たり人員を見ると、最も多いのは西区の2.35人で、以下、早良区、東区の順になっており、都心部に位置する中央区(1.75人)と博多区(1.78人)は、福岡市全体

の2.08人を下回っています。(表2)

(3) 年齢別人口

生産年齢人口割合の低下が続く

年齢区分別の構成比を見ると、福岡市全体の15歳未満の「年少人口」の割合は14.0%となり、横ばい状態が続いています。15～64歳の「生産年齢人口」の割合は68.4%で、前年と比べ0.1ポイント減少し、65歳以上の「老年人口」の割合は17.6%で、前年と比べて0.1ポイント増加しました。割合の推移を見ると、生産年齢人口の割合は低下傾向にあり、老年人口の割合は上昇傾向にあることが分かります。

行政区別に見ると、年少人口の割合が福岡市全体の割合(14.0%)より高いのは、西区、早良区及び東区で、生産年齢人口の割合が福岡市全体の割合(68.4%)より高いのは中央

表2 行政区別世帯数及び人口

区	平成22年		平成23年					対前年増減				
	世帯数	人口	世帯数	人口	性比		1世帯当たり人員	世帯数	率	人口	率	
					男	女						
福岡市	671 525	1 404 525	683 885	1 419 311	674 197	745 114	90.5	2.08	12 360	1.8	14 786	1.1
東区	127 415	279 121	129 816	282 475	137 339	145 136	94.6	2.18	2 401	1.9	3 354	1.2
博多区	109 472	196 456	112 487	199 910	97 475	102 435	95.2	1.78	3 015	2.8	3 454	1.8
中央区	93 407	164 489	95 797	167 578	74 205	93 373	79.5	1.75	2 390	2.6	3 089	1.9
南区	113 143	243 832	114 308	244 764	115 261	129 503	89.0	2.14	1 165	1.0	932	0.4
城南区	56 238	120 970	56 809	121 633	57 855	63 778	90.7	2.14	571	1.0	663	0.5
早良区	91 909	209 681	93 224	211 304	100 448	110 856	90.6	2.27	1 315	1.4	1 623	0.8
西区	79 941	189 976	81 444	191 647	91 614	100 033	91.6	2.35	1 503	1.9	1 671	0.9

表3 行政区別年齢3区分別人口

	人口総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	年齢別割合					老年化指数	
					うち75歳以上		15歳未満	15～64歳	65歳以上		うち75歳以上
					人	%					
平成19年	1 372 840	192 029	956 167	224 644	100 179	14.0	69.6	16.4	7.3	117.0	
20年	1 382 563	193 725	957 148	231 690	104 925	14.0	69.2	16.8	7.6	119.6	
21年	1 394 017	195 287	958 622	240 108	109 896	14.0	68.8	17.2	7.9	123.0	
22年	1 404 525	196 457	962 620	245 448	114 703	14.0	68.5	17.5	8.2	124.9	
平成23年	1 419 311	198 694	970 383	250 234	119 746	14.0	68.4	17.6	8.4	125.9	
東区	282 475	42 209	190 648	49 618	23 539	14.9	67.5	17.6	8.3	117.6	
博多区	199 910	23 879	144 029	32 002	15 087	11.9	72.0	16.0	7.5	134.0	
中央区	167 578	18 804	122 067	26 707	13 003	11.2	72.8	15.9	7.8	142.0	
南区	244 764	34 144	165 264	45 356	22 078	13.9	67.5	18.5	9.0	132.8	
城南区	121 633	16 837	81 687	23 109	11 106	13.8	67.2	19.0	9.1	137.3	
早良区	211 304	32 290	141 052	37 962	17 991	15.3	66.8	18.0	8.5	117.6	
西区	191 647	30 531	125 636	35 480	16 894	15.9	65.6	18.5	8.8	116.2	

区と博多区で、老年人口の割合が福岡市全体の割合(17.6%)より高いのは、城南区、南区、西区及び早良区となっています。

年少人口に対する老年人口の割合を示す「老年化指数」は、中央区、城南区、博多区及び南区で、福岡市全体の指数(125.9)を上回りました。(表3)

(4) 世帯員数別世帯数

中央区、博多区 1人世帯が約6割

世帯員数別世帯数の構成比を見ると、1人世帯が45.6%で前年比0.4ポイントの増加となり、2人世帯は23.1%で前年比0.1ポイントの増加となりました。一方、3人世帯は15.2%で前年比0.2ポイントの減少、4人以上の世帯は16.3%で前年比0.4ポイントの減少となりました。

行政区別に見ると、全ての区で1人世帯の割合が最も高くなっており、特に中央区と博多区は、約6割が1人世帯となっています。

(表4, 図2)

(5) 小学校区別人口

人口増加数 玄洋校区が最も多い

小学校通学区域別に見ると、人口が最も多いのは平尾校区(中央区)の21,138人で、以下、博多区の博多校区、那珂校区と続いています。人口が最も少ないのは曲瀬校区(早良

区)の195人で、次いで西区の小呂校区、東区の勝馬校区となっています。

前年と比べた人口増加数は、西区の玄洋校区(1,456人増)が最も多く、以下、博多区の弥生校区(1,359人増)、東区の照葉校区(754人増)となり、人口増加率は、弥生校区(28.3%)、照葉校区(20.0%)、玄洋校区(14.8%)の順になっています。一方、人口減少数は、那珂校区(1,034人減)、周船寺校区(843人減)、筑紫丘校区(455人減)の順に多くなっています。(表5)

図2 世帯員数別世帯数

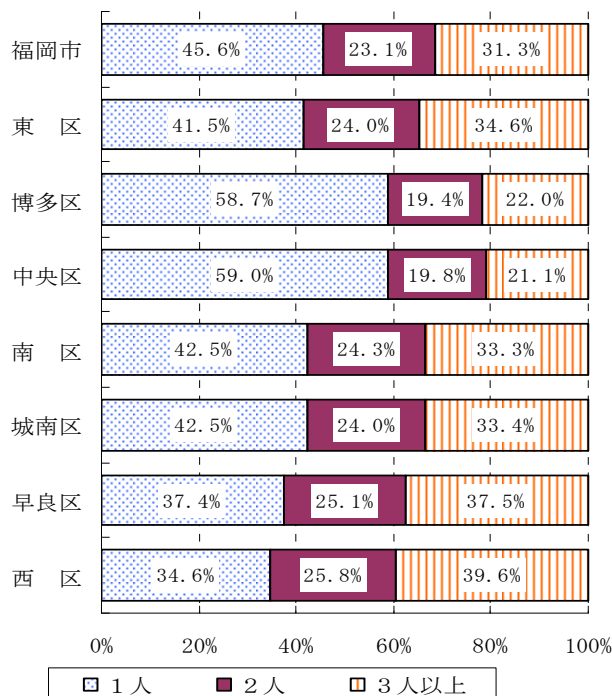


表4 行政区別世帯員数別世帯数

	各年9月末現在								
	総数	世帯数				構成比			
		1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人以上世帯	1人 %	2人 %	3人 %	4人以上 %
平成19年	642 514	282 894	145 624	99 637	114 359	44.0	22.7	15.5	17.8
20年	652 282	289 721	149 131	100 163	113 267	44.4	22.9	15.4	17.4
21年	662 040	296 322	152 100	101 073	112 545	44.8	23.0	15.3	17.0
22年	671 525	303 284	154 533	101 752	111 956	45.2	23.0	15.2	16.7
平成23年	683 885	312 138	157 685	102 681	111 381	45.6	23.1	15.0	16.3
東区	129 816	53 814	31 147	21 187	23 668	41.5	24.0	16.3	18.2
博多区	112 487	66 004	21 779	12 596	12 108	58.7	19.4	11.2	10.8
中央区	95 797	56 554	18 993	10 770	9 480	59.0	19.8	11.2	9.9
南区	114 308	48 546	27 726	18 121	19 915	42.5	24.3	15.9	17.4
城南区	56 809	24 161	13 650	9 019	9 979	42.5	24.0	15.9	17.6
早良区	93 224	34 904	23 380	16 414	18 526	37.4	25.1	17.6	19.9
西区	81 444	28 155	21 010	14 574	17 705	34.6	25.8	17.9	21.7

表5 福岡市小学校区別世帯数及び人口

平成23年9月末現在

区・小学校区名	世帯数	校区人口	区・小学校区名	世帯数	校区人口	区・小学校区名	世帯数	校区人口
福岡市合計	683 885	1 419 311	春吉	8 828	11 624	原西	4 922	11 026
東区	129 816	282 475	草ヶ江	7 512	14 326	原北	3 103	7 639
馬出	6 003	9 830	平尾	11 669	21 138	飯倉	4 442	9 786
筥松	7 246	13 111	高宮	7 657	11 365	賀茂	4 570	9 923
箱崎	7 427	13 057	赤坂	6 113	10 884	有田	4 585	10 811
香椎	5 151	10 549	南当仁	8 403	15 777	野芥	5 051	11 602
多々良	6 497	13 760	笹丘	5 605	11 836	大原	4 052	8 587
名島	6 509	15 081	舞鶴	4 520	6 934	四箇田	3 526	8 295
香住丘	8 315	17 178	小笹	6 242	14 584	飯原	2 927	6 882
和白	4 880	11 294	福浜	2 750	5 484	有住	2 464	4 872
千早	3 577	8 206	鳥飼 *	336	719	田村	4 166	9 935
城浜	2 276	3 874	南区	114 308	244 764	飯倉中央	2 355	5 459
若宮	4 583	9 999	三宅	7 868	15 761	小田部	3 509	9 337
勝馬	108	283	花畑	3 940	9 303	百道浜	3 136	7 944
志賀島	741	1 703	玉川	8 398	15 137	脇山	1 024	2 557
西戸崎	2 656	6 014	西高宮	7 728	16 387	内野	2 760	6 694
美和台	6 637	15 839	臼佐	2 873	6 865	曲渕	80	195
八田	3 072	7 167	宮竹 *	6 207	12 197	入部	3 091	7 658
和白東	5 331	12 270	大楠	6 440	9 721	早良	1 572	3 859
舞松原	4 243	10 246	若久	5 074	11 271	西区	81 444	191 647
香椎東	5 661	13 700	老司	3 709	8 656	姪浜	6 236	13 684
青葉	4 627	12 321	長住	3 612	8 434	壱岐	6 228	16 110
奈多	3 994	9 150	筑紫丘	4 065	8 616	能古	355	783
香椎浜	2 433	5 442	西花畑	5 057	11 925	内浜	6 852	14 004
香椎下原	6 210	13 116	弥永	3 129	6 701	金浜	1 845	5 294
千早西	3 085	7 031	東花畑	4 078	9 188	下山門	3 958	9 404
東箱崎	3 202	6 813	長丘	4 193	10 790	壱岐南	4 145	10 313
香陵	1 762	4 669	西長住 *	1 745	3 914	西陵	2 554	5 419
松島	8 333	17 153	弥永西	3 591	8 398	壱岐東	2 214	4 700
三苫	3 730	9 096	東若久	3 349	7 657	石丸	4 739	11 616
照葉	1 527	4 523	鶴田	3 030	7 457	愛宕	5 686	12 578
博多区	112 487	199 910	野多目	4 768	11 725	福重	3 629	8 193
博多	13 003	19 159	高木	4 367	8 272	城原	3 257	7 840
住吉	5 541	7 596	大池	3 713	8 401	愛宕浜	2 607	7 200
堅粕	6 793	9 631	塩原	6 113	10 840	姪北	4 967	10 024
千代	6 589	9 458	柏原	3 658	9 461	今宿	5 198	12 394
吉塚	5 503	9 855	横手	3 603	7 687	今津	1 451	3 130
東住吉	6 122	8 342	城南区	56 809	121 633	周船寺	5 322	12 984
席田	2 853	6 269	西長住 *	840	2 006	元岡	4 344	11 271
月隈	4 007	8 623	長尾	6 020	13 083	北崎	911	2 666
春住	5 540	8 856	鳥飼 *	4 227	9 565	玄界	234	554
板付	6 771	14 454	別府	7 860	15 962	小呂	67	206
那珂	9 247	18 594	七隈	6 166	12 629	玄洋	4 645	11 280
那珂南	6 969	12 990	堤	4 336	10 224	複数区にまたがる小学校区の合算		
東光	4 608	7 586	城南	6 338	13 909	宮竹【合算】	7 946	16 177
東吉塚	5 662	10 316	金山	3 783	7 267	西長住【合算】	2 585	5 920
美野島	6 195	10 096	片江	5 835	11 791	鳥飼【合算】	4 563	10 284
板付北	3 396	7 419	南片江	3 797	8 762			
東月隈	3 545	8 335	田島	4 839	10 618			
三筑	5 766	12 190	堤丘	2 768	5 817			
弥生	2 638	6 161	早良区	93 224	211 304			
宮竹 *	1 739	3 980	西新	7 635	15 695			
中央区	95 797	167 578	原	4 619	10 503			
大名	2 995	4 220	高取	7 810	15 895			
当仁	7 626	14 080	百道	3 364	7 652			
箕子	5 446	8 211	田隈	3 539	7 723			
警固	10 095	16 396	室見	4 922	10 775			

※ 本表及び次ページ以降の統計表は、福岡市教育委員会が公表している「市立小中学校の通学区域」に基づいて、住民基本台帳に登録された人の住所地を各小学校区に振り分け、集計したものです。

※ 小学校名欄に「*」印を付した学校は、校区が複数行政区にまたがっているため、小学校区単位の数値は本表末尾に合算した値を示しています。

2. 人口動態

(1) 自然動態

出生数 減少に転じる

平成23年(1~12月)の自然動態(出生と死亡の数)は、出生数14,385人、出生率(人口1,000人当たりの出生数)は10.14‰(パーミル)、死亡数は10,459人、死亡率(同死亡数)は7.37‰で、自然増加数は両者の差の3,926人、自然増加率(同自然増加数)は、2.77‰となりました。

平成22年と比較すると、出生数は前年と比べ121人減少(前年比△0.8%)し、死亡数は前年と比べて301人の増加(前年比3.0%増)となったため、自然増加数は前年

比422人の減少(前年比△9.7%)となりました。平成18年から5年連続で続いていた出生数の増加は減少に転じました。

行政区別に見ると、出生率は博多区の10.78‰が最も高く、次いで東区、西区の順になっています。死亡率は西区の8.11‰が最も高く、以下、南区、博多区が続いています。自然増加率が最も高いのは、中央区の3.48‰で、最も低いのは南区の2.07‰でした。(表6、表7、図3)

(2) 社会動態(市外移動)

全ての区で転入超過

平成23年の社会動態(市外との転出入の

表6 出生・死亡・自然増加数の推移

	出生数	死亡数	自然増加	
			実数	率
	人	人	人	‰
H14	13 135	8 176	4 959	3.77
15	13 024	8 318	4 706	3.55
16	12 978	8 510	4 468	3.34
17	12 542	8 762	3 780	2.80
18	13 255	8 915	4 340	3.19
19	13 921	9 104	4 817	3.51
20	13 977	9 654	4 323	3.13
21	14 207	9 341	4 866	3.49
22	14 506	10 158	4 348	3.10
23	14 385	10 459	3 926	2.77

図3 出生・死亡・自然増加数の推移
(千人) (‰)

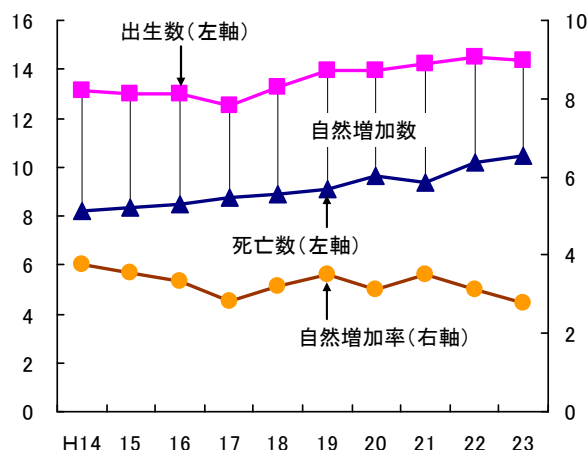


表7 自然動態

市区	平成22年			平成23年					
	自然増加数	出生数	死亡数	自然増加数	前年比	出生数	前年比	死亡数	前年比
福岡市	4 348 (3.10)	14 506 (10.33)	10 158 (7.23)	3 926 (2.77)	△ 9.7	14 385 (10.14)	△ 0.8	10 459 (7.37)	3.0
東区	1 043 (3.74)	3 075 (11.02)	2 032 (7.28)	928 (3.29)	△ 11.0	3 036 (10.75)	△ 1.3	2 108 (7.46)	3.7
博多区	686 (3.49)	2 145 (10.92)	1 459 (7.43)	650 (3.25)	△ 5.2	2 156 (10.78)	0.5	1 506 (7.53)	3.2
中央区	555 (3.37)	1 644 (9.99)	1 089 (6.62)	583 (3.48)	5.0	1 624 (9.69)	△ 1.2	1 041 (6.21)	△ 4.4
南区	616 (2.53)	2 430 (9.97)	1 814 (7.44)	506 (2.07)	△ 17.9	2 360 (9.64)	△ 2.9	1 854 (7.57)	2.2
城南区	268 (2.22)	1 174 (9.70)	906 (7.49)	282 (2.32)	5.2	1 166 (9.59)	△ 0.7	884 (7.27)	△ 2.4
早良区	619 (2.95)	2 050 (9.78)	1 431 (6.82)	569 (2.69)	△ 8.1	2 081 (9.85)	1.5	1 512 (7.16)	5.7
西区	561 (2.95)	1 988 (10.46)	1 427 (7.51)	408 (2.13)	△ 27.3	1 962 (10.24)	△ 1.3	1 554 (8.11)	8.9

注) ()内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの自然増加数、出生数、死亡数。

数)は、転入者数が74,252人で転入率(人口1,000人当たりの転入者数)52.32%,転出者数63,513人の転出率(同転出者数)44.75%,両者の差である社会増加数は10,739人で、社会増加率(同社会増加数)は7.57%となっています。

平成22年と比較すると、転入者数は3,525人増加、転出者数は2,015人減少し、社会増加数は5,540人増加しました。平成8年以降転入超過の状態が続いています。

行政区別に見ると、全ての区において転入超過となっており、転入者数が最も多いのは博多区の15,779人で、次いで東区、中央区となっています。転出者数は博多区の12,822人が最も多く、以下、東区、南区となっており、社会増加数は中央区の3,144人が最も多くなりました。

各区の人口動態の構成を見ると、都心部に位置する中央区と博多区は、社会増加数の割合が高いことが分かります。(表8、表9、図4)

福岡市の人口の詳細は【福岡市の統計情報ホームページ】をご覧ください。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/tokeichosa/shisei/toukei/index.html>

表8 転入・転出・社会増加数の推移

	転入者数	転出者数	社会増加	
			実数	率
	人	人	人	%
H14	78 870	72 429	6 441	4.89
15	77 966	72 992	4 974	3.75
16	76 348	71 489	4 859	3.63
17	76 455	69 968	6 487	4.81
18	78 190	70 537	7 653	5.62
19	77 277	71 363	5 914	4.31
20	74 425	69 378	5 047	3.65
21	72 862	67 795	5 067	3.63
22	70 727	65 528	5 199	3.70
23	74 252	63 513	10 739	7.57

図4 人口動態の構成

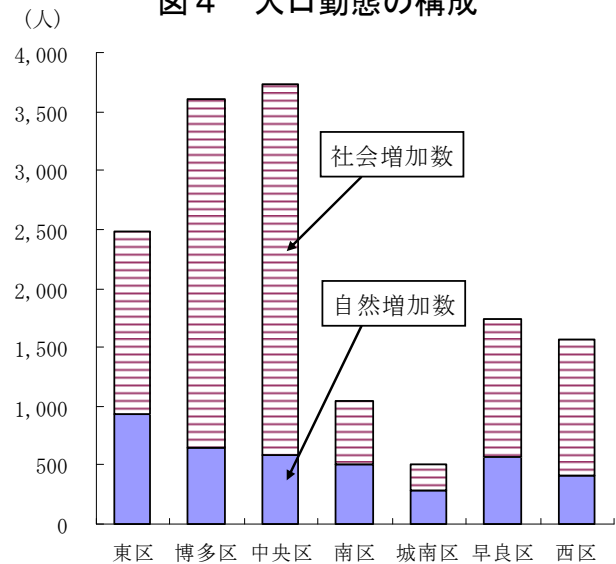


表9 社会動態

市区	平成22年			平成23年					
	社会増加数	転入者数	転出者数	社会増加数	前年比	転入者数	前年比	転出者数	前年比
	人, ‰	人, ‰	人, ‰	人, ‰	%	人, ‰	%	人, ‰	%
福岡市	5 199 (3.70)	70 727 (50.36)	65 528 (46.65)	10 739 (7.57)	106.6	74 252 (52.32)	5.0	63 513 (44.75)	△ 3.1
東区	1 219 (4.37)	13 307 (47.67)	12 088 (43.31)	1 556 (5.51)	27.6	13 262 (46.95)	△ 0.3	11 706 (41.44)	△ 3.2
博多区	1 854 (9.44)	14 323 (72.92)	12 469 (63.47)	2 957 (14.79)	59.5	15 779 (78.93)	10.2	12 822 (64.14)	2.8
中央区	1 485 (9.03)	11 881 (72.23)	10 396 (63.20)	3 144 (18.76)	111.7	12 839 (76.62)	8.1	9 695 (57.85)	△ 6.7
南区	△ 597 (△2.45)	10 068 (41.29)	10 665 (43.74)	536 (2.19)	△189.8	10 407 (42.52)	3.4	9 871 (40.33)	△ 7.4
城南区	△ 97 (△0.80)	4 637 (38.33)	4 734 (39.13)	230 (1.89)	△337.1	4 863 (39.98)	4.9	4 633 (38.09)	△ 2.1
早良区	185 (0.88)	8 462 (40.36)	8 277 (39.47)	1 164 (5.51)	529.2	8 966 (42.43)	6.0	7 802 (36.92)	△ 5.7
西区	1 150 (6.05)	8 049 (42.37)	6 899 (36.32)	1 152 (6.01)	0.2	8 136 (42.45)	1.1	6 984 (36.44)	1.2

注) ()内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの社会増加数、転入者数、転出者数。